りんご畑だより
No. 26
2007年

お待たせしました！
中生種の出番です

仲秋の名月と共に、秋本番。中生種の収穫は、本当にありがたい"穂刈の秋"を実感する季節です。今年は、ことに暑さがこたえただけに、ありがたさも、ひとしおしみじみと。（「刈〜っ、もう草刈りしても ズクズクにゅぽかかない…ぬ〜」）

実は、今年は、早生のつがるも田んぼには、最後まで実をもんでました。（田んぼは、もうすぐ稲刈り）（9/8撮影）
つがるは収穫ぎりぎりまで味の仕上がりが分からないのに、うらく色づきが遅れ、これは、もう色づく前にボケ*ちゃうのでは、と、年入れする度に「胸が重いよ〜」と、嘆いてたのですが、何とか並みの味にはなり、「全滅より良ければ金とよし」と、現金にパワーを取り戻した（ゲンキン）農家です。（「あぁ、今年も何とかなったぜ〜」）
田んぼも、隣近所よりずいぶん遅れた成育でしたが、駆け込みセーフになんそうです。

温暖化に対する警鐘か、狂い咲いて久しいですが、原因も定かではないらしく、お天道さん様々のなりわいの我々5色様はまともに寒くなってくれますように、と願うのみ。（信州では）「もうこれからは『りんかん』を植えろ」なんていう ことにならないうちに
温暖化よ、止まれ。
（むろん、ひと ネコやは天候だけではなく、栽培を上げるべく 努力いたします）

*注「ボケル」
果肉が軟化して
蜜ごたるか褐くなる
こと。つがるの
弱点です。

みなじみ
りんご畑の ハロウィーン
今年は 台風清いで
風神に扮する 園主

「これくらいの"ボケ"なら 大丈夫かもしれない」と、言われて 田んぼ全体の「ボケ」を 目指してしまいました。

心にお留め下さい！ 中生種 各種の特徴

紅玉
ちっぱく甘く、昔ながらのあの味。お菓子に最適。"蜜"が外側に入り、そこが水分を吸収してくれるので、加工はすぐに、一気に。

シナノスイート
歯ごたえ シャキリの爽やかな甘味。また、外見からは分からないのに芯にカビが入るという弱点があります。

千秋
ワックスが目立つくらいの完熟。「おいのでいも」と心配なさらないで下さい。

善積農園
〒399-4301長野県上伊那郡宮田村3180-4
TEL / FAX 0265(83)1674
0265(85)2103 NEW
e-mail: info@yoshizumi-noen.com